

歴史的公文書収集選別基準の基本的考え方について

公文書（行政文書）：仙台市の諸活動や歴史的事実の記録

- 経緯も含めた意思決定に至る過程
- 事務事業の実績

市には諸活動等を市民に説明する責務があり、これらを裏付け、検証するための資料として、公文書を作成し、保存しなければならない。



その中でも「市政の重要事項に関わり、将来にわたって市の活動又は歴史を検証する上の重要な情報」は

「歴史的公文書」として保存し、**将来の市民に説明する責務**がある

「市政の重要事項に関わり、将来にわたって市の活動又は歴史を検証する上の重要な情報が記録されたもの」とは...

- ① 仙台市の制度、計画、事業などの成り立ちや変遷が記録されたもので、行政運営の推移がわかるもの
- ② 仙台市行政の貴重な例証が記録されたもの
- ③ 仙台市の歴史や特性に係る情報が記録されたもの

上記の例示が「Ⅱ 個別的基準」の列举項目

- ▶ 項目にあてはまらないが、「基本的な考え方」に照らし選別対象となるものも出てくる
- ▶ 「その他歴史的価値があると認められるもの」

① 仙台市の制度、計画、事業などの成り立ちや変遷が記録されたもので、行政運営の推移がわかるもの

- (1) 条例、規則等の制定改廃に関するもの
- (2) 市議会の会議録、議案、報告その他市議会に関するもの
- (3) 基本構想、総合計画に関するもの
- (4) 法令に基づき策定した計画（総合計画を除く）その他の計画に関するもの
- (5) 附属機関等に関するもの
- (6) 各種制度・事業で特に重要であるもの
- (7) 職員の人事及び給与に関するもの（輕易なものを除く）
- (8) 職員団体等との交渉に関するもの
- (11) 訴訟、調停、不服申立てに関するもの
- (12) 陳情、請願、要望に関するもので重要であるもの

①仙台市の制度，計画，事業などの成り立ちや変遷が記録されたもので，行政運営の推移がわかるもの（続き）

- (13) 公の施設の整備に関するもので特に重要であるもの
- (14) 協議及び協定に関するもので重要であるもの
- (16) 財産の取得及び処分に関するもの
- (17) 本市が関与した団体等の設置及び廃止に関するもの
- (18) 予算編成及び決算調製に関するもの
- (19) 行財政改革及び行政評価に関するもの
- (20) 災害に関するもの（東日本大震災に関するものを除く）
- (21) 褒章、叙位、叙勲、表彰に関するもの
- (22) 市長の事務（市長から副市長に委任された事務を含む）の引継ぎに関するもの
- (23) 東日本大震災に関するもの

②仙台市行政の貴重な例証が記録されたもの

- (1) 条例、規則等の制定改廃に関するもの（再掲）
- (9) 他の市町村との廃置分合及び境界変更に関するもの
- (10) 区の設置及び境界変更、町名整備並びに住居表示に関するもの
- (11) 訴訟、調停、不服申立てに関するもの（再掲）
- (12) 陳情、請願、要望に関するもので重要であるもの（再掲）
- (14) 協議及び協定に関するもので重要であるもの（再掲）
- (15) 国際交流等に関するもの
- (20) 災害に関するもの（東日本大震災に関するものを除く）（再掲）
- (21) 褒章、叙位、叙勲、表彰に関するもの（再掲）
- (23) 東日本大震災に関するもの（再掲）

2 昭和36年度の戦災復興事業完了までに完結したもの

③仙台市の歴史や特性に係る情報が記録されたもの

- (9) 他の市町村との廃置分合及び境界変更に関するもの（再掲）
- (10) 区の設置及び境界変更、町名整備並びに住居表示に関するもの（再掲）
- (15) 国際交流等に関するもの（再掲）
- (20) 災害に関するもの（東日本大震災に関するものを除く）（再掲）
- (21) 褒章、叙位、叙勲、表彰に関するもの（再掲）
- (23) 東日本大震災に関するもの（再掲）
- 2 昭和36年度の戦災復興事業完了までに完結したもの（再掲）